

平成 29 年度総会議事録

- 1、開催日時 平成 29 年 6 月 4 日（日）午前 11 時～午後 1 時
- 1、開催場所 （公財）日本バレーボール協会会議室（東京都渋谷区千駄ヶ谷
1-30-8 ダヴィンチ千駄ヶ谷 5 F）
- 1、正会員 総数 61 名(理事 18、監事 2、正会員 41)
- 1、出席した正会員数 45 名＝内訳 本人出席 18 名＝吉田昌子、神白高子、高木貴子、中村きよみ、田中克子、宮嶋泰子、加藤勝久、嶋原正法、奥本浩平、大上志麻、福德未来（以上理事）、香山正男(監事)、岸田美也子、田原由美、梶尾洋子、福岡優、小川裕史、新保露樹（以上正会員）、委任状出席 27 名。
- 1、吉田昌子代表挨拶 「昨年度の活動を皆様と一緒に総括し、財政の厳しい中で今年度の活動について話し合ってください」
- 1、議長・書記選任
司会者の加藤勝久理事が、本日の総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長、書記の選任方法を諮り、満場一致をもって加藤勝久理事が議長に、奥本浩平理事を書記にそれぞれ選任。続いて議案の審議に入った。
- 1、議事の経過の要領及び議案別決議の結果
第 1 号議案 平成 28 年度活動報告・決算報告の件
議長は、これを議場に諮ったところ満場一致、拍手をもって異議なく可決決定。
第 2 号議案 平成 29 年度活動方針案・予算案
議長は、これを議場に諮ったところ満場一致、拍手をもって異議なく可決決定。
- 1、報告補足と質疑
▽平成 28 年度決算報告のうち JSC(日本スポーツ振興センター)助成金返還問題について嶋原理事の補足。
平成 27 年 11 月から 28 年 8 月まで JSC の監査が本会事務局に入った。その結果、JSC は 24 年度から 27 年度までに助成を受けた「アジアスポーツフェスタ」、「バレーボール教室&シンポジウム」の 2 事業に対して、JSC の「助成金交付要綱」に違反する不適切な会計処理があったと指摘。助成金対象経費の一部取り消しを通告してきた。
本会の会計処理は、事務局経費がひっ迫する中、JSC の助成金等からの支払う理事・スタッフへの謝金については、30 万円を事務局経費として差引、差額を支払ってきた。JSC はこの処理方法を「助成対象経費として支払った講師・スタッフ謝金等から、寄付金とし受け取ることを禁止」に抵触すると指摘。24 年度から交付済み助成金の一部取り消し分の返還と返還日までの加算金、合わせて 903,764 円の返還を求めてきた。事務局は返還通知命令に基づき、期限の 28 年 11 月 30 日に全額を振り込み、返還した。

▽香山監事の監査報告。

適正に処理した。12期を終わって赤字がないということは健全な活動ができているということ。会員を増やして、会費で事業を展開するのが基本。事業を拡大するというより、身の丈の活動をしてほしい。

▽財政逼迫について。

「設立当時のメンバーがお金を出し合ってはどうか」との意見に「今は女性スポーツ勉強会が唯一収入源。スポンサーを付けるためにがんばってほしい」

大上理事から提案。「女性スポーツ勉強会の事業に、助成金の申請をしようと思うがいかがですか」JSC 以外なら何の問題もないということで、具体的に進めることを確認した。

▽NPO 法人日本バレーボール・オリンピックの会（VOJ）との連携について。

「女性スポーツ勉強会への参加要請をしたのか」との意見に「メールでお知らせをだしたが、返事（不参加）は一人だけ。仲良く、という認識はないようだ」。個人的とはいえ、奥本理事がこのままお手伝いすることに難色ありの空気。

日本協会は近く、事務所の大幅改修を行うが、その際、「スペースがないのでモン・スポとVOJは一つの机を共有して事務作業を行ってください」と通告された。

▽懇親会

いつもの近くの日本そば店で出席者全員が参加して約1時間駄弁って散会した。

以上（文責・奥本浩平）